

服部 力

服部都市建築設計事務所 会長
(1級建築士、工学博士)

建築物はその用途によって多種多様で、それは極端に言
考慮すべき設計内容が変わると日用雑貨から飛行機ま
る。住宅ならそこに住む人ので、さらに保管温度は常温か
要望や使用勝手上の工期・予ら冷蔵、冷凍まで各種異なる
算などの制約条件を充たしな条件が求められる。建物に出
がら、快適な生活空間を実現入りの際に使われる荷物車
できるように設計する。ただ、や、荷物用コンベヤー、エレ
多くの建築物は人間が動き、ベーターも、扱う物によって
働き、生活を続ける空間であ異なる。床荷量をみても、衣
るため、結局共通条件として類や家具等は1平方メートル
ヒューマンサイズで構成され0・5トあれば良いが、一般
る。つまり、扉の大きさや階雑貨は同1ト、鋼材倉庫に至
段の踏み面、蹴上げ、手摺りつては10ト15トにもなる。
高さ、天井高さは建築物の用いまでこそ、ネット販売の
途によって多少の差異はある普及などで全国各地で倉庫建
が、それほど戸惑うことはな設ラッシュユとなっているが、
い。私は35年前から倉庫建設の面
ただ、倉庫は違つ！一般白さに惹かれ、各種の倉庫の
的に倉庫は殻(建築物の外郭)設計に取り組んできた。多種
だけを造れば良いと思われがちだが、実はかなり奥深い。
倉庫の中に収納されるものは

インドネシアで手掛けた倉庫
(ジャカルタ)

「奥深い」物流施設設計に^はま^る



多様な床荷量の倉庫から、ジヤンボ機2機が入る大空間の倉庫も設計した。荷物エレベーターの床が5×5トのものも手がけた。都内で担当した倉庫は一棟丸ごとワイン庫だった。このほか、延べ床面積4万平方メートルの自動車タイヤ倉庫や、延べ床面積3万平方メートルのロール紙倉庫、平屋3・3万平方メートルの鋼材庫等も担当した。倉庫と組み立て工場が一体のものもあった。

倉庫はその中に納める製品や、その納品方法、商品の出し入れ頻度などによって設計条件が異なり、机上で幾案考えても、最適な倉庫設計ができる訳ではない。建物構造材の仕様を考えることで、何年後かの施設解体時にリサイクル率を99%近くにもできる。もちろん工期短縮も可能になる。

長年、倉庫を手がけてきたおかげで、当社の設計は標準的な倉庫設計に比べ、コストも工期も10〜15%圧縮できる。独自技術があると自負している。倉庫に興味を抱く建築家は残念ながら多くないが、当社の設計主旨を事業主にご理解いただき、美しく仕上がった倉庫が完成すると、設計者冥利に尽きるのである。